



三瓶施設長より



「新年あけましておめでとうございます」

昨年、竹の塚あかしあのは「施設開設10周年」の大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、多くの方々からのお力添えの賜物であると深く感謝しております。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。

一方、施設開設後10年が経過したということで、設備面について不具合が見られることも増えてまいりました。本年は、特別委員会を新たに設置して、空調・水回り・外壁等々、修繕の優先順位を見極めつつ施設の大規模修繕に着手し、利用者の皆様にとって快適な環境を提供できるよう取組みを進めます。

また、4月には障害福祉サービスの報酬改定が予定されています。全体としては、+0.47%の改定率となったものの、事業ごとの詳細な改定内容については示されていないものもあります。今後の動向を注視しながら、慎重に対応していきたいと思っております。

最後になりますが、本年も利用者の皆様が安心して当施設をご利用できるよう、安全なサービス提供に努め、皆様に必要とされる施設として、この地に存在していきたいと願っております。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年が皆様にとりまして良い年になりますことをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

三瓶 善衛

『祝10周年』

今年度、竹の塚あかしあの杜が創立し、10周年を迎えました。皆様のご協力もあり、10月11日に「10周年記念行事」を無事に開催することができました。

少しではございますが、10周年記念行事の様子をご覧ください。

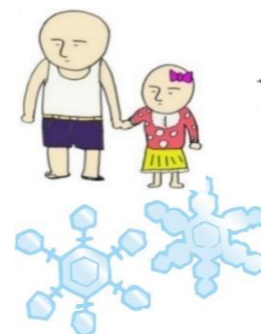


■編集後記■

今年度3回目の発行となりました。イベントや活動報告等盛りだくさんな記事になりました。次号も皆様に楽しんで頂ける広報をお届けしたいと考えております。(宇田川 記)

ボランティアさん募集

年齢・性別・経験は問いません。
興味のある方、楽しみたい方、ご連絡お待ちしております。
連絡先: 03-5654-7731(代)



もっちりもっちり



発行元：社会福祉法人あいのわ福祉会 竹の塚あかしあの杜 広報委員会
〒121-0813東京都足立区竹の塚7-19-11 TEL：03-5654-7731 (代)
FAX：03-3859-6655

発行責任者：三瓶 善衛



第37回障がい者週間記念事業「障がい者アート展」見学

「のぞみ」では12月4日～7日に足立区役所1階アトリウムで行われていた「第37回障がい者アート展」の見学に行きました。「のぞみ」・「きずな」の利用者の方は、個々で自分のイメージにしたものを作品にしたり、グループでアイデアを出し合ったものを作品にして毎年出展しております。(大津 記)



■障がい者週間とは
「障がい者週間(12月3日から12月9日)」は、全ての国民が障がいの有無にかかわらず地域で共生する社会の実現に向けて、国民の間に広く、障がいのある人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がいのある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する意欲を高めることを目的として、障害者基本法に定められています。

■参考：障害者基本法(抜粋)
(障害者週間)
第九条 国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者週間を設ける。
2 障害者週間は、12月3日から12月9日までの一週間とする。
3 国及び地方公共団体は、障害者の自立及び社会参加の支援等に関する活動を行う民間等の団体等と相互に緊密な連携協力を図りながら、障害者週間の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

本誌掲載の写真・個人名の使用については個人情報に基づき、ご本人の許可をいただいております。

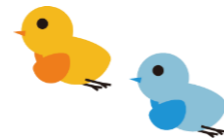
きずなより ~施設入所支援~



11月13~14日、河口湖へ1泊2日の旅行に行ってきました。
 当日は天気に恵まれ、晴天の中出発しました。1日目は、昼食で美味しいハンバーグを食べ、森の水族館に行きました。利用者の方々は旅行をとて楽しみにされていたようで、お腹いっぱいハンバーグを食べ、水族館を満喫されていました。夜は、温泉に入り宴会を楽しみました。カラオケでとても盛り上がりました。
 2日目は、桔梗屋でお土産を沢山買い、大満足で帰園しました。利用者も職員も笑顔の絶えない旅行となりました。(山本 記)



実習生



未来の福祉を担う若者に実習の感想やこれからの抱負を聞きました。

◆東京未来大学福祉保育専門学校(6月12日~27日、11月13日~30日)



- ・この4日間で見学したことを学校に帰って磨きをかけて1月の実習に全力で取り組みたいと思います。
- ・私は実習を通して利用者様の背景を知り、一人一人に寄り添った介護ができるよう心掛けたいです。
- ・私にとっては学校生活最後の実習でした。最初は不安と緊張で一杯でしたが、職員さんや利用者様に良くしていただけたのでとても実になる実習になりました。
- ・笑顔を忘れずいつもありがとうと言っていただけのような人になりたいと思います。

◆東京豊島IT医療福祉専門学校(11月7日~12月1日)

- ・この実習で沢山のことを学び、今後にも活かしていけるような実習になりました。18日間でしたが、すてきな方たちと学べて楽しかったです。
- ・アットホームな雰囲気の中やさしい利用者、やさしい職員に囲まれて、楽しい実習になりました。

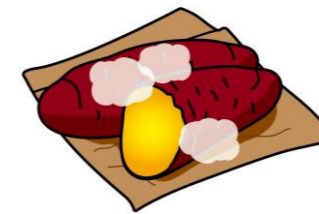
のぞみより ~通所支援~



■芋ほり

11月21日、芋ほりを行いました。毎年この時期に実施していますが、今年はどういう訳か不作でした…。皆で一生懸命藁を引っ張りますが、引いても引いても藁ばかり、採れた芋を売っての調理活動を予定していたので、「食べられないのでは!？」との声もありました。
 しかし、しばらく掘ると土の中からほどほどサイズのサツマイモがコロコロと現れ始め、無事に収穫する事が出来ました。採れたお芋は、その後おいしいサツマイモアイスと、スイートポテトになりました。自分たちで収穫したお芋で作るスイーツは格別です。食べ終わった後は「また芋ほりして調理したいね。」と、たくさんの笑顔が見れました。

(鈴木 記)



研修委員より



■内部研修報告

研修内容：救急救命講習
 日時：11月21日(月)・22日(火)
 場所：あかしの杜 1階食堂
 講師：足立消防署 署員3名
 参加人数：34名(実習生4名含む)



今月の研修は、「救急救命講習」と題し、足立消防署の方3名に来所して頂き、「AEDの使い方」や「心臓マッサージ」などを教えて頂きました。
 消防署の方に用意して頂いたダミーを相手に、胸部圧迫(心臓マッサージ)を行いました。普段なかなかできない体験に、参加者は「力を入れないと、なかなか押せない。」「コツをつかむまで、手が痛くなった。」と話していました。
 AEDを見た事はあるが、初めて使用するという参加者も多くいました。機械が次に何を行うか指示を出すのでその通りに行えばいいのですが、焦ってしまい、電極パッドの位置を間違えてしまったり、コンセントを刺す順番を間違えたりしてしまいました。何度も繰り返し教えて頂いたり、練習を重ねるうちに、スムーズに出来るようになっていました。
 実技が終わってからも「救急救命の資格は何年ごとに更新が必要か」や、「資格はどうやって取れるのか」など皆さん積極的に質問をしていました。
 研修に参加した人が、研修に参加出来なかった人に、説明をしている姿があらこちらで見られました。今回は、普通救命講習とは違い、1時間という短時間での研修でしたが、貴重な経験が出来ました。今回の研修だけで終わりにするのではなく、さらなるステップアップをしていきたいと感じました。

(大沼 記)